

大阪しんりんくみあい通信

2007.10 Vol.13

施業集約化・供給情報集積事業について

今年度より創設された当事業は、全国的な取り組みとして、全国森林組合連合会を主体として進められています。

事業の内容は、まず森林組合が森林所有者との合意形成を構築し、団地化による施業の集約化を図りながら、搬出される木材量の情報を集積するというものです。

全国的に小規模森林所有者が所有者比率でも大半を占める中で、所有森林ごとに施業と木材搬出を実施しても、採算が合わないというケースがほとんどで、結果的に施業及び木材搬出が遅れるというのが、日本の森林・林業の現実であるということ踏まえ、対象森林をひとつの団地として捉え、低コスト作業路網を敷設し、効率的な施業と木材搬出を目的としています。

当組合においては機械化林産事業を展開する、いわゆる河内林

業地を着手時の対象地域とし、当事業に取り組んでいます。

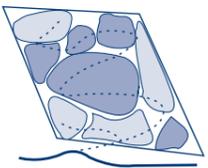
事業の対象地となった森林所有者と森林組合は5年以上の長期作業委託契約を締結し、また2年以内に伐採・搬出作業を行う必要があるなど、当事業の成否の鍵は森林所有者の方々との合意形成をいかに構築するかにかかっています。

当組合としましても担当職員の意識と知識の向上を図りながら、少しでも組合員の皆様方に有利な施業手法を用いて事業の推進を図っていきたく考えています。

事業対象地域の組合員の皆様におかれましても、もし当事業に関して、組合職員より説明がありましたら、前向きなご検討をよろしくお願いいたします。

■集約化の考え方(例)

① 1地域を集中的に集約化



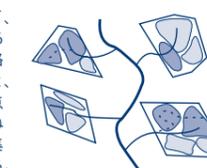
利用間伐が可能なA施業地を中心に隣接する利用間伐、保育森林を集中的に集約化する。また、この際、作業路網についても計画及び所有者の承諾を得る。

② 複数箇所を一体的に集約化



利用間伐森林などが、小規模もしくは分散する場合、森林が幹線道路でつながっていること、施行を行うための拠点からの移動時間が概ね60分程度を目安とし、集約化を図ることができる。

③ 小規模・分散施業地を集約化



利用間伐などが可能な複数の集約化箇所を幹線道路を通じ効率的かつ低コストで林業生産を行う。この場合、各集約化箇所の移動時間が概ね60分程度を目安とする。

● = 利用間伐
○ = 保育間伐
— = 幹線道路
— (細線) = 幹線林道
- - - = 保育間伐

木材市況

(平成19年4~8月期)

木材共販所における原木価格の推移は、合板・パネル材などに使用する並材の価格が、国外需要の高まりを受け、スギ節有材で3,000~5,000円/m程度、値を上げているケースも見受けられます。

一方でヒノキ材については、当期前半は下落傾向を示していたものの、後半に下げ止まり、現在は横ばい傾向で推移しています。

木材共販所としては、昨年、好評であったケヤキ材とともにヒノキ大径材を集荷し、秋季に開催予定の特別市に出品するなど買い方

の集客に努めることで、府内産木材の流通活性化に向け努力してまいります。

■平成19年4月~8月期販売実績と平均単価

樹種	取扱量(m ³)	平均単価(円)
スギ	420.851	13,040
ヒノキ	1,893.033	23,725
マツ	17.170	52,543
広葉樹	4.292	15,959

全国研究集会在大阪で開催されました

全国の森林組合職員で組織する全国職員連盟が主催する平成19年度全国研究集会在が、8月2~3日、大阪のホテル阪急エキスポで開催され、開催府県として当組合も参加しました。

今年度は、今号に記事でも取り上げた「集約化」がテーマで、当組合を含めた先進的な取り組みを行っている5府県による発表が行われました。

当組合では、現在、事業推進を図っている森林再生アクションプランについての取り組みを葛城室長が発表し、盛会かつ有意義な集会が無事、終了いたしました。

研究集会のあとは、場所を改め、出席者全員による懇親会が行われ、普段、交流できない他府県の森林組合職員の皆さんとお互いの情報交換や懇親を深めることができました。

他府県の職員の方とお話している中で、それぞれの府県では、森林に対して抱える問題は異なりますが、健全な森林育成と、それを次代につなげていく熱意は、皆同じであることが理解でき、今後も、このような機会を利用し、全国的な交流を深めていきたいと感じた2日間でした。



挨拶する菊川職員互助会会長 日本のある森について語り合う

8月10日 第6回大阪府森林組合通常総代会が開催されました。

当組合は第6回通常総代会を8月10日午後2時より、大阪府農林会館行動において、大阪府の志知環境農林水産部長様、高槻市の奥本市長をはじめ、多数のご来賓をお迎えし、総代数246名中177名(内委任状59名)の出席のもと、開催しました。

総代会の議事進行には三島地区より大矢氏が選任され、下記に挙げる第1号から第5号議案を上程、審議いただきました。その結果、すべての議案について原案通り可決、承認され、閉会に至りました。

当日は組合の1年間の業務内容をスクリーンに投影し、ご説明するなど、より総代員の皆様に組合活動に対する理解を深めていただくとする試みも実施いたしました。

当号では平成18年度決算報告及び平成19年度事業計画の抜粋を組合員の皆様にお知らせいたします。

- 「第1号議案：平成18年度事業報告・貸借対照表・損益計算書及び剰余金処分案の承認について」
- 「第2号議案：平成19年度事業計画の設定について」
- 「第3号議案：平成19年度借入金の最高限度額の決定について」
- 「第4号議案：平成19年度余裕金預け入れ先の決定について」
- 「第5号議案：役員報酬の決定について」



大阪府環境農林水産部 志知部長

ご挨拶 大阪府森林組合 代表理事組合長 氏原 修

平素は森林組合に対し、格別のご厚情を賜り、厚くお礼申し上げます。さて森林組合は木材価格の低迷や公共事業の削減など厳しい状況ではありましたが、おかげさまで合併以来、一度も赤字を出すことなく、自己資本比率も57%余と全国水準を大きく上回り、さしたる不良債権もない状態での健全経営を行っていることを、組合員の皆様にご報告申し上げます。

平成18年度の決算状況につきましても木材共販や製材加工という低迷する木材価格が大きく影響を及ぼす事業は、苦戦を強いられておりますが、利用事業、特に森林バイオマス関連事業においては好調な伸びを示し、森林整備事業においても地球温暖化対策予算の増額もあり、前年度並みの事業量を確保しております。また昨年4月より事業受託しております指定管理者事業については、組合の創意工夫を凝らした事業運営を行った結果、経営上、一定の成果をもたらしております。

以上の結果、平成18年度決算額は次ページにも記載のとおり、21億6,028万円を売り上げ、事業管理費や法人税等を差し引いた当期剰余金も3,369万円を計上するに至りました。

この喜ばしい結果につきましては、組合員各位のご支援の賜物であり、改めて厚く御礼申し上げます。

今後とも組合員の皆様からの忌憚のないご意見を賜りながら、よりよい森林組合づくりに邁進していきたいと考えておりますので、変わらぬご支援・ご指導を賜りますよう、お願い申し上げます。



氏原代表理事組合長

Index

平成18年度 決算報告	2	観光センター便り	6
平成19年度 事業計画/平成19年度 損益計画書	3	チェーンソーの点検してますか?	7
支店のトピックニュース	4	チェーンソーの目立てを素早く、正確に	7
“がんばっています”大阪府内産木材の住宅づくり	5	施業集約化・供給情報集積事業について	8
組合員様によるご紹介キャンペーン	5	木材市況	8
生駒「山の日」フェスティバル 生駒周遊ハイクを楽しもう!	6	全国研究集会在大阪で開催されました	8

元気まるごと

丸大パワーギフト

POWER GIFT

ご贈答には、丸大食品のハム・ソーセージの詰合せをどうぞ。

お問合せ先…丸大食品株式会社 関西特販営業課 大阪市西成区南津守2-1-10 Tel. 06-6657-0071

貸借対照表 (平成19年5月31日現在)

(単位:円)

科 目	内 訳	小 計	合 計
(資産の部)			
流動資産			
現金・預金		750,877,508	
受取手形	77,340,031		
売掛金・未収金	138,951,918		
上記2項目の小計	216,291,949		
貸倒引当金	△10,000,000	206,291,949	
たな卸資産		29,706,327	
その他		10,013,984	
流動資産合計			996,889,768
固定資産			
有形固定資産	915,439,050		
減価償却累計額	△438,364,374	477,074,676	
無形固定資産		1,056,667	
外部出資			
系統出資金		35,720,000	
系統外出資金		17,863,720	
外部出資合計		53,583,720	
その他の固定資産			
農林業資金貸付金		40,208,614	
その他		6,631,964	
さきもり基金		504,000,000	
その他の固定資産合計		550,840,578	
固定資産合計			1,082,555,641
資産合計			2,079,445,409
(負債の部)			
流動負債			
受託販売預り金		4,789,044	
買掛金		3,228,162	
未払金		171,239,958	
預り金		8,766,471	
基金預り金	504,000,000		
組合拠出金	△88,100,000	415,900,000	
その他		18,045,063	
流動負債合計			621,968,698
固定負債			
農林漁業資金借入金		40,208,614	
林構施設借入金		151,150,009	
預り保証金		10,705,000	
退職金給付引当金		289,374,105	
役員退任慰労引当金		7,740,527	
その他引当金・積立金		391,931,482	
固定負債合計			891,109,737
負債合計			1,513,078,435
(資本の部)			
出資金		204,412,000	
出資金合計			204,412,000
剰余金			
準備金・積立金		266,273,935	
当期末処分剰余金		95,681,039	
剰余金合計			361,954,974
資本合計			566,366,974
負債・資本合計			2,079,445,409

1.受取手形の割引高は0円である。
2.受取手形の裏書譲渡高は、0円である。

損益計算書 (平成18年6月1日～平成19年5月31日)

(単位:円)

科 目	小 計	合 計
I 事業総損益		
1. 収 益	2,160,284,779	
2. 費 用	1,628,360,539	
事業総利益		531,924,240
II 事業管理費		
1. 人 件 費	302,728,648	
2. 旅 費 交 通 費	12,371,072	
3. 事 務 費	12,204,067	
4. 業 務 費	9,240,973	
5. 諸 税 負 担 金	23,964,357	
6. 施 設 費	109,173,931	
7. 雑 費	327,435	
事業管理費計		470,010,483
事業利益		61,913,757
III 事業外損益		
1. 事 業 外 収 益	8,663,423	
2. 事 業 外 費 用	17,164,799	
事業外損益		△8,501,376
経常利益		53,412,381
IV 特別損益		
1. 特 別 利 益	4,400,000	
2. 特 別 損 失	1,816,024	
特別損益		2,583,976
V 利益剰余金		
税引前当期剰余金	55,996,357	
法人税及び住民税額	22,300,000	
当期剰余金	33,696,357	
前期繰越剰余金	61,984,682	
当期末処分剰余金	95,681,039	

部門別損益計算書

(単位:円)

部 門 別	費 用	収 益	損 益
指 導 部 門	5,874,018	4,883,718	△990,300
販 売 部 門	194,032,306	218,603,023	24,570,717
加 工 部 門	143,352,329	162,112,000	18,759,671
森 林 整 備 部 門	1,285,101,886	1,774,686,038	489,584,152
合 計	1,628,360,539	2,160,284,779	531,924,240

平成18年度 剰余金処分案

(単位:円)

摘 要	積算内訳	小 計	合 計
I 当期末処分剰余金			95,681,039
II 剰余金処分額			
1.法定準備金	当期剰余金の1/5以上	10,000,000	
2.特別積立金		10,000,000	20,000,000
III 次期繰越剰余金			75,681,039

運営の基本方針

1. 指導部門

多様化する林業経営ニーズに応じていくため、府及び関係市町村からの指導を得ながら、組合員への経営指導に努める。

(1) 情報紙の発行

「大阪しんりんくみあい通信」の内容を充実し、年2回発行する。

(2) 地区活動の強化

地域林業振興のため各市町村別に地区林業推進協議会を運営し、活動の推進を図る。

(3) 地籍調査事業の推進

組合員の世代交代やサラリーマン化により、林地境界が不明確になってきており、これらの事業への取り組みを強化し推進する。

(4) 集約化林業の推進

木材搬出の効率化を図るため、団地化施策を推進する。

2. 販売部門

「施策集約化・供給情報集積事業」を推進し、国産材の安定供給に努めるとともに、関係行政機関の支援を仰ぎ、府内産木材の販路拡大に努める。

(1) 販売

木材共販所の合理化を進め、森林バイオマス事業とも連携し、経営の収支均衡を図る。

(2) 建設

府内産木材は環境にやさしい木材であることのPRを進め、工務店などと連携し、木造建築及びリフォーム事業を推進する。

3. 加工部門

本年度、設置した「森林再生アクションプラン」推進室を中心に木材生産から加工、流通、利用の活性化を図り、府内産木材の加工品の販路拡大を図る。

またウッドベースかわちながのでは、製造コストの削減に取り組み、運営の合理化をさらに進める。

4. 森林整備部門

国や府・市町村など森林整備にかかわる各種補助及び受託事業、また森林バイオマス事業、森林レクリエーション事業、森林土木工事など組合中核事業の推進を図るとともに、森林再生アクションプランの推進に努める。

(1) 森林整備

・公共造林及び府、市町村受託事業による森林整備事業の推進。

(2) 利用

・都市型森林組合として、都市に関連する様々な事業との連携による円滑な事業推進を図るとともに、指定管理者として各公共施設の管理、運営を行う。

・林地境界明示のための地籍調査事業や若年労働力育成のための緑の担い手育成対策事業に取り組む。

(3) 購買

・林業用具及び優良苗木の販売に努める。

(4) 金融

・組合員の林業経営に必要な資金を農林漁業金融公庫や農林中央金庫をはじめ、各種制度資金の紹介、斡旋を行う。

・現借入金の償還事務を行う。

5. 管理部門

現状を鑑み、今後の経営はますます厳しさを増すものと思われるため、第2次改革プランを着実に実行に移す。併せて職員資質の向上と安全衛生、人材確保、育成に努めつつ、本支店間連携により、組合員に信頼される組合作りを目指す。

(1) 全職員が経営者の認識に立ち、コスト管理とともに事務経費の合理化など経費の節減に努める。

(2) 役職員、作業班の労働安全と健康管理に努める。

(3) 債権保全の適正管理と資金管理に万全を期し、効率的な運用に努める。

(4) 本支店間の連携を密にし、仕事のダブリやムダを少なくするとともに、機械や資材の有効利用を図る。

1 部門別損益計画

(単位:千円)

部 門	費 用	収 益	損 益
指 導 部 門	6,500	4,500	△2,000
販 売 部 門	266,300	311,000	44,700
加 工 部 門	116,231	151,000	34,769
森 林 整 備 部 門	1,147,059	1,547,665	400,606
合 計	1,536,090	2,014,165	478,075

2 事業総損益

(単位:千円)

I. 事業総利益	478,075
II. 事業管理費	465,775
III. 事業外損益	100
IV. 特別損益	0
V. 利益剰余金(税引前剰余金)	12,400

能勢の森林の恵みを一庫ダムへ 豊能支店

一級河川である猪名川は北摂を源流とし、川西や箕面、池田、豊中、尼崎という阪神間の都市を貫流し、神崎川に流れ込む淀川水系の河川です。

猪名川の上流域に昭和57年に建設された一庫ダムは、渇水時の農業用水・上水道用水として流域に住む50～60万人の水資源の確保とともに、洪水や浸水被害の軽減に大きな役割を果たす多目的ダムとして、流域住民の暮らしを守っています。

昨年度より独立行政法人水資源機構一庫ダム管理所のご理解とご協力のもと、この一庫ダム周辺に、水源地のひとつである能勢町を含む猪名川流域産間伐材を利用したウッドデッキや展望台、看板類などを整備しました。

森林は水を育む天然のダム、人工物である一庫ダム、ともに流域住民の暮らしを守る存在として、今後も協力していきたいと考えています。



設置された木製展望デッキなど

【緑の雇用担い手研修 実施】 南河内支店

今年で4年目を迎える緑の担い手育成対策事業ですが、今年度も南河内支店管内の森林をフィールドとして、実施しています。

南河内支店においては、森林再生アクションプランや全国森林組合連合会が実施主体である施業の集約化事業の推進を担っており、機械化林産をはじめ新たな施業手法を導入していく必要から、これからますます若い労働力の確保が重要となってきています。

今年度の研修生は全員が20代で、中には担い手研修を受けるため、わざわざ富田林に住まいを移した研修生がいるなど、熱意あふれる4名です。

多角的事業展開を行っている当組合に、いち早く馴染んでもらうため、研修では幅広い業務を経験してもらいたいと考えています。

来年4月には、大阪の森林を守るため、知識と技術を修得した新たな担い手として我々とともに活動してくれるものとして期待しています。



若さみなぎる研修生

チェーンソー伐倒ならお手のもの! 三島支店

新たな造林地が減少するとともに下刈する場所も少なくなり、春から秋にかけて山仕事は以前と比べ、だいぶ少なくなってしまいました。

林業推進に励む森林組合として、この現状は憂慮に堪えないところですが、一方で、この時期に“まち”の仕事が増えてきています。住宅地や公園、ゴルフ場、公共施設などで、大きくなりすぎて周囲に支障を及ぼす高木や、いずれは倒れそうな枯損木の伐採、竹やぶの整理などがあります。

組合の現場技術職員の特技といえば日頃、山林内の作業で培ったチェーンソー伐採と高所作業。「こしかない」という方向に狙いどおり伐倒したり、足がすくむような地上10メートルのところで枝を切り落としたりと、街中でも腕を奮っています。

もちろん伐採材は森林資源加工センターに持ち運んでベレットや堆肥に有効活用しています。

確かな技術と樹木の有効活用をモットーに、これからも組合員や市民の依頼に応えていきたいと思えます。

(お気軽にお問い合わせ下さい。現場を見てお見積いたします。)



“山”の技術が“まち”でいきる

農林産物直売所「葉菜の森」がオープン 泉州支店

かねてより大阪府森林組合が参画し、計画を進めておりました、農林産物直売所「葉菜の森」が和泉市大野町に7月下旬オープンしました。

地元産のとれたて野菜・果物はもちろん、加工品や季節の花弁などを販売するとともに木製品の売り場も確保している施設です。

森林組合も関係する施設として、木製品アイテムとして丸太イス、木工品、炭、薪、ベレット等、林産品販売はもとより、都市住民への森林・林業のアピールもきっちりさせていただこうという考えです。

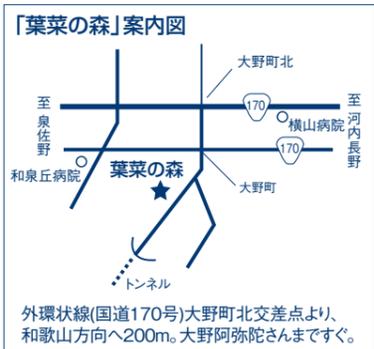
また、この施設の建築は当組合の建築事業部が受注し、壁面には地元産木材を使用した羽目板で内装を仕上げるなど、爽やかな木の香りを漂わせており、お客様から「木のいい香りがする!」と好評です。

営業時間は午前10時から午後6時まで。木曜日は定休日となっています。

珍しい野菜も並んでいるので、お近くにお越しの際には是非覗いてみて下さい。



木の香りただよ「葉菜の森」の店内



“がんばってます”

大阪府内産木材の住宅づくり

建築事業部：☎0120-630-854 <http://www.sinrin.org>

当組合で進めている建築事業は年々、着実な成長を遂げ、おかげさまをもちまして、今年度、新築4棟を受注することができました。来年度は更なる飛躍を遂げるため、担当職員一同、気合が入っています。

○毎日ハウジング高槻会場センターハウス

人・車の往来が多い国道171号線に面した高槻市富田丘町に今年8月、新たにオープンした住宅展示場センターハウスの本体及び外構工事の設計・施工を受注しました。



センターハウス外観

展示場のコンセプトは自然との共生。その表れとして以前より根を下ろしていたメタセコイヤを、そのまま残して建物の配置をしています。

依頼を受けたセンターハウスは、府内産木材を内外装にふだんに使用して気持ちの良い空間をつくりあげています。また運営会社のご好意でセンターハウスの一角に森林組合のPRコーナーを設置させていただき、府内産木材の普及にも一役買ってこれそうです。

今後、展示場のイベントにも参加し、さらに森林組合の知名度を上げていきたいと考えています。

お近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。

○7月に2軒が竣工

本年7月には河内長野市内において新築2軒が竣工し、お施様のご好意で2軒とも新築見学会を開催させていただきました。



特徴あるM様邸の玄関土間

M様邸は、成熟した住宅地の中の一角で古家を建て替えという条件でした。完成した住宅は南側に大きく設けられたバルコニーや大型バイクも収納できる玄関土間など、お施様のご希望が盛り込まれた1邸に仕上がりました。

N様邸は、自然があふれる気持ちのよい環境の中に完成。自然素材をふだんに使用した住宅をという奥様のご希望が、当組合の住宅づくりと合致し、ご契約を結ぶことができました。新築なのに、周囲の風景に溶け込むような飽きのこない、落ち着いた外観と木材を多用し、心休まる内装など、お施様にはご自慢の一邸になるのではないのでしょうか。

両お施様とも、すでにご入居されておられますが、当組合の建築事業部のお客様には特別に内覧の機会を設けていただけるとのことです。住宅のご計画をお持ちの方は、建築事業部までお問合せください。



周囲の風景に溶け込むN様邸

●組合員様によるご紹介キャンペーン

今回、住宅販売推進の一環として、組合員の皆様を対象に住宅紹介キャンペーンを実施します。

組合員の皆様のお知り合いで新築・リフォームのご計画をお持ちの方はいらっしゃいませんか?ぜひ建築事業部にご紹介ください。

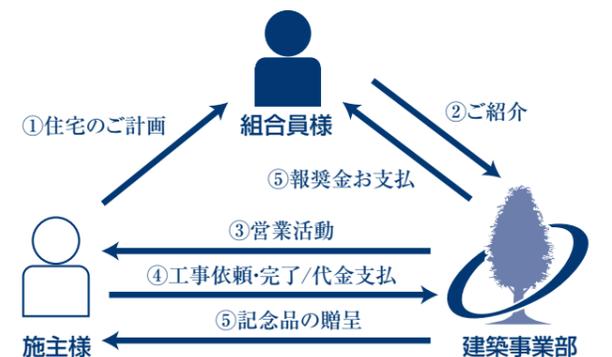
ご成約に至りましたら、ご紹介いただいた組合員様に「おさかの木」販売奨励金をご紹介いただいた施主様には記念品をお贈りする、ご紹介キャンペーンを開催します。詳しくは建築事業部担当者までお問合せください。

期間
平成19年10月から平成20年5月末日まで

販売奨励金額(組合員様対象)

- 契約金額
- 100万円未満 ▶ 2%
- 100万円以上 ▶ 1%

紹介いただいた最初の契約金額を対象とします。



生駒「山の日」フェスティバル 生駒周遊ハイクを楽しもう!

大阪府では、地球温暖化防止など森林の持つ様々な機能を府民に理解してもらい、森林とふれあう機会を増やすため、毎年11月を「山に親しむ推進月間」、11月第2土曜日をおおさか「山の日」と定め、関係団体の幅広い協力により、森林を「知る・利用する・守る」イベントを府内各地で開催します。

紅葉が美しいこの季節、おおさかの山を楽しみリフレッシュしてみませんか?



■ 生駒「山の日」フェスティバル 生駒周遊ハイク

～女性初の7大陸最高峰登頂者 田部井淳子氏を招いての周遊ハイク～

日時 11月10日(土) 9:00～16:00

場所 東大阪市(府営枚岡公園～府民の森「なるかわ園地」～府営枚岡公園)
〔最寄駅:近鉄奈良線「額田」駅〕

内容 周遊ハイキング、田部井淳子氏のトークイベント、フォレストセイバー隊認定式、植物観察会、野鳥観察会、クラフト、森づくり体験、チェーンソーアートほか

主催 大阪 山に親しみ森づくりを推進する実行委員会、生駒山系森づくりサポート協議会、大阪府

協賛 枚岡公園管理事務所、東大阪山地保全協議会、大阪府山岳連盟、ひらおかの森を守る会、大阪府森林組合、(財)大阪府みどり公社、(社)日本野鳥の会大阪府支部、NPO法人大阪植物観察会、NPO法人日本森林ボランティア協会、大阪産業大学文化会吹奏楽部、生駒の森運営協議会

参加費用 無料 **申し込み** 電話又はFAXにて申込み

申し込み・問い合わせ先

大阪府中部農と緑の総合事務所 地域政策室
TEL.072-994-1515 (内線)383,385
FAX.072-991-8281

※雨天中止の場合[当朝6:00前のNHK気象情報で、当日午前の降水確率が70%以上の場合は、田部井淳子氏のトークイベントのみ「東大阪市立グリーンガーデン枚岡」にて開催し、ハイクは11月18日(日)に延期します。

■ その他、「山に親しむ推進月間」中には関係団体主催によるたくさんの行事を開催する予定です。

※今年のイベント情報は、右記のHPに掲載しています。▶<http://www.pref.osaka.jp/midori/yamanohi/index.html>

チェーンソーの「点検」してますか?

間伐や玉切りなどの林業作業にもっとも必要不可欠な伐採道具といえばチェーンソーです。最近のチェーンソーは軽量化や低振動性向上など改良が進み、省力かつ安全に作業を行うことができます。

しかし、整備不良などによる無理な使用はチェーンソーの寿命が縮むばかりか、通常と異なる振動・騒音・悪臭が発生したり作業性能が低下し、必要以上の負荷が掛かって事故の危険性が高まります。

したがってチェーンソーの使用に際しては、使いっぱなしにせずに点検や整備を欠かさないことが大変重要です。ここでは日常必要な点検と容易な整備作業をまとめてみましたので参考にしてください。

点検は使用前・使用後に欠かさず行いましょう。また作業中も切れ具合や異音、振動、目視などにより随時、異常がないか注意しましょう。異常があれば取扱説明書にしたがって整備を行ってください。

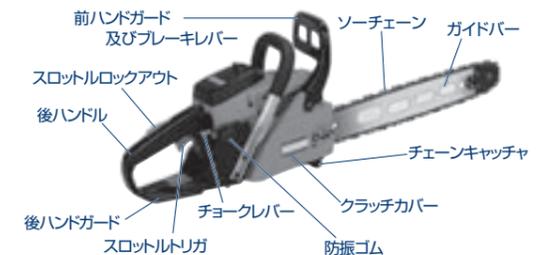
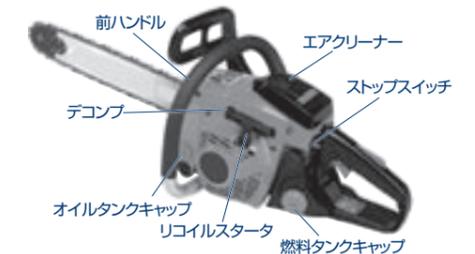


目立てなどの点検は使用前に行いましょう

※点検方法や内容はチェーンソーにより異なる点がありますので、ご使用するチェーンソーの取扱説明書を確認した上で点検・整備をして下さい。

※チェーンソーの取り扱いに関する講習会(伐木等作業(チェーンソー)従事者特別教育)が林業・木材製造業労働災害防止協会の主催により年2回開催されています。チェーンソーをご使用される方は受講をお勧めします。

- 1 **エアクリーナー**
・取付部周囲およびフィルターの掃除
- 2 **ガイドバー**
・ガイドバーの溝とオイルインレット孔の木屑除去
・損傷や変形の有無
- 3 **チェーンブレイキ**
・ブレイキバンドの木屑除去
・ブレイキレバーのスプリング周辺の清掃
- 4 **ソーチェーン**
・張り具合の調整
・目立ての確認
- 5 **燃料やオイルのフィルター**
・汚れの確認(ひどければ交換)
- 6 **その他**
・ボルトやナットの緊締
・チェーンオイル、燃料の量(使用前、使用中)



● 購買取扱商品「目立屋チェーンソー」のご紹介

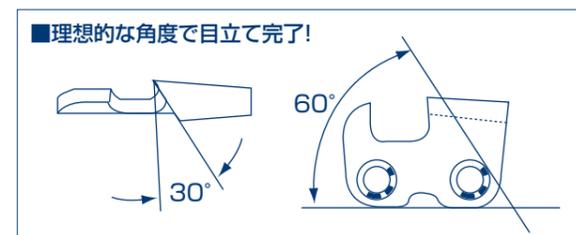
チェーンソーの「目立て」を素早く、正確に

チェーンソーの目立てでは、作業効率を上げるだけでなく、体への疲労や安全性を高め、機械を長持ちさせるためにも必要な作業です。

必要な作業ではありますが、目立てや切削角度などを誤ると、せっかくの目立てが無駄になってしまうケースもあります。

今回、目立てが不慣れな人でもベテランの仕上げができ、電動で疲れない「目立屋チェーンソー」をご紹介します。

金属製のガイドと電動工具にセットした超硬ビットで、理想的な角度で目立て完了!



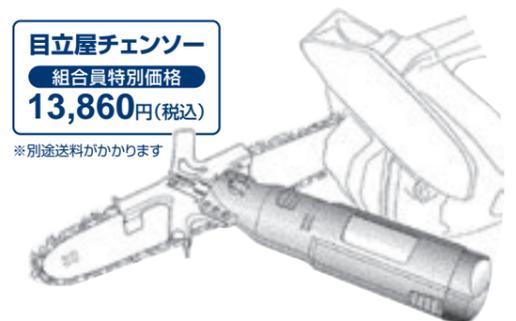
的な角度での目立てが仕上がります。

キットには電動工具のほか、バッテリー、充電器、金属製ガイド、超硬ビットが附属しており充電が完了したら、すぐに使用することができます。

この商品は組合の購買品として取り扱いをしておりますので、お気軽に最寄りの支店までお問合せください。

目立屋チェーンソー
組合員特別価格
13,860円(税込)

※別途送料がかかります



● 観光センター便り ●

お問い合わせは
☎072-688-9400

例年にない残暑の厳しさも去り、これから周囲の森林が赤や黄色に染まる紅葉満喫のシーズンを迎えます。

高槻森林観光センターでは、恒例の「秋会席(1人前3,200円より)」「松茸すき焼き(1人前5,000円より)」をはじめ、「炭火焼料理(1人前1,900円より)」等々、盛り沢山のメニューでお客様をお迎えしようと、一同がんばっております。

また地場特産を中心とした食材を用いることで、「食の安全性」についても従業員一同、認識を深め、さらなる向上心をもって皆様に愛され、親しまれる観光センターとなるよう取り組んでおります。

四季折々に変化する山々に心ひかれ、魅了してくれる高槻森林観光センターへ、ぜひお越しください。

なお組合員の皆様には日頃の愛顧に感謝し、1人前2,500円以上のお料理をお召し上がりいただいた組合員様(ご本人含め4名まで)に温泉無料サービスを延長させていただきます。

ページの下にある引換券をご持参いただき、お食事の支払いレシートとともに温泉受付に、お示しいただければ、入浴サービスさせていただきます。



10月の「秋会席メニュー」



11月の「秋会席メニュー」

